

平成30年度事業計画書
平成30年度収支予算書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人 海原会

平成30年度事業計画書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

公益財団法人海原会は、戦没された予科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げるとともに、その歴史的事実を正しく後世に伝承するため及びその御霊の安らかならんことを願うための事業を通じて、かつて日本国民が味わった惨禍を再び繰り返すことのないように、全世界の平和とわが国の繁栄及び国民の幸福に寄与することを基本理念として昭和53年に設立されて以来、今日まで40年に亘って活動してまいりました。

この間多大の貢献をされた予科練同窓生を中心とする会員も、高齢化にともないその活動も思うにまかせない状況となりつつありますが、逐次若い世代に本法人の意義あるところを伝承すべく法人の諸活動を進めております。

平成30年度は前年度に引き続き、ご遺族との連携を強化するための施策を促進するとともに、戦没予科練生の聖地とも言うべき雄翔館を戦没予科練同窓の慰霊と顕彰に相応しいものとするべく、内容の充実を図ってまいります。

また、役員の世界交代を円滑におこなうための諸準備を計画的に推進します。

I 慰霊・顕彰事業

1 慰霊事業

先の大戦において、祖国日本の危急を救うために、名実ともにわが国航空戦力の中核となり、あるいは航空機に代えて回天・震洋などの搭乗員として、一身を国に捧げた予科練出身戦没者の慰霊事業は、当法人の主要事業の一つであります。

その中で最も重要なものは、「雄翔園」に於ける「全国予科練戦没者慰霊祭」であります。本年度は第51回目の慰霊祭であり、次の節目の慰霊祭への第一歩となる慰霊祭であることを肝に銘じてその執行に心掛け、日本全国から多くの同窓生及びご遺族等のご参列を頂き、5月20日（日）に開催いたします。

「全国予科練戦没者慰霊祭」以外にも、全国各地で行われる慰霊祭に、海原会役員を出席させ会の目的である予科練出身戦没者の慰霊を推進いたします。

その主要なものは以下に記述するとおりです。

(1) 第51回予科練戦没者慰霊祭

次の節目の慰霊祭への第一歩となる慰霊祭であり、参加者の記憶に残る慰霊祭を行います。

ア 前夜祭

- (ア) 日時 : 平成30年5月19日(土) 午後6時から
(イ) 場所 : ホテルマロウド筑波

イ 慰霊祭

- (ア) 日時 : 平成30年5月20日(日) 午前10時半から
(イ) 場所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」
(ウ) 内容
 (a) 慰霊飛行
 (b) 第51回予科練戦没者慰霊式典
 (c) 特設展示会
 (d) 直会
(エ) 協力
 陸上自衛隊武器学校
 陸上自衛隊施設学校
 海上自衛隊下総航空基地
 阿見町予科練平和記念館
 阿見町交通安全母の会
 阿見町更生保護女性の会

(2) 「旧土浦海軍航空隊記念碑」除幕式

- ア 日時 : 平成30年5月20日(日) 午前9時半から
イ 場所 : 「雄翔園」内記念碑前広場
ウ 参加予定者
 海原会役員、武器学校関係者、記念碑寄贈者

(3) 各地区戦没者慰霊祭

- | | | | |
|---|------------|---------|-------------|
| ア | 予科練雄飛会慰霊祭 | 平成30年4月 | 於：靖国神社境内 |
| イ | 靖国神社春季例大祭 | 平成30年4月 | 於：靖国神社参集殿 |
| ウ | 大分海軍航空隊鎮魂祭 | 平成30年4月 | 於：大分護国神社 |
| エ | 浜空鎮魂の碑慰霊祭 | 平成30年4月 | 於：浜空神社跡地 |
| オ | 宮崎特攻基地慰霊祭 | 平成30年4月 | 於：宮崎特攻基地慰霊碑 |
| カ | 若桜の碑慰霊祭 | 平成30年5月 | 於：三重空慰霊碑前 |

キ	靖国神社崇敬奉賛会	平成30年5月	於：靖国神社境内
ク	乙飛24期慰霊祭	平成30年6月	於：靖国神社境内
ケ	静岡空襲日米合同慰霊祭	平成30年6月	於：賤機山山頂
コ	東郷神社海の宮祭	平成30年7月	於：「海の宮」お社前
サ	全国戦没者追悼式	平成30年7月	於：日本武道館
シ	8.15会慰霊祭	平成30年8月	
ス	特攻平和観音慰霊祭	平成30年9月	於：世田谷観音
セ	零戦の会慰霊祭・総会	平成30年9月	於：靖国神社
ソ	靖国神社秋季例大祭	平成30年10月	於：靖国神社参集殿
タ	串良基地戦没者慰霊祭	平成30年10月	於：串良平和公園
チ	台湾元日本軍人軍属戦没者慰霊祭	平成30年11月	於：台中市宝覺寺
ツ	ハワイ日米合同慰霊祭	平成30年12月	於：ハワイ ホノルル
テ	特攻隊戦没者慰霊祭	平成31年3月	於：靖国神社境内

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後73年が過ぎ、戦没同窓生のご遺族も世代が親兄弟から、子や孫の世代に移り、家族の形態や居住環境の大きな変化に伴い、各ご遺族が保管していた遺書や遺品等もその維持管理が困難になるケースが多くなりつつあります。これにともない、本法人では予科練戦没者の遺書・遺品・実戦記録を収集するとともに、予科練生存者・遺族及び海軍出身者などの体験談等を収集して、予科練の史実を次の世代へ正しく伝承するための基盤の確立に努力するとともに、それらの資料を雄翔館に展示することにより戦没同窓生の偉勲の顕彰に努めます。

特に、30年度は海原会所蔵の遺書・遺品・遺影等の電子データ化を前年度に引き続き促進して、体系的な展示を可能にするとともに、戦没者紹介ポスターを海原会ホームページにアップして海原会会員の活用に供する体制を整えます。

ア 予科練戦没者の遺書・遺品の収集および戦没者紹介パネル等の作成

(ア) 機関誌及びホームページに収集要領を掲載し、年間を通して資料の収集を実施します。

(イ) 収集した情報に基づき戦没者紹介パネルの作成を行います。

イ 収集した遺書・遺品等の整理保管及び劣化防止のための施策

ウ 体験談等の録画及び公開

実戦や予科練での訓練・生活の様子について体験談を映像で収集整理するとともに、雄翔館内の証言記録視聴用モニターの内容の充実を図ります。

また、海原会ホームページへアップします。

エ 雄翔館玄関の改修工事の完成

一昨年度から継続実施している雄翔館の玄関部分及び床の張替え改修工事を完成させます。

(2) 遺族調査事業

様々な手段により戦没予科練生のご遺族の調査を行い、ご遺族ネットワークを構築するとともに、現在海原会で把握しているご遺族のデータベースの充実・更新を行います。また、ご遺族訪問を行い、証言記録を作成保存するとともに、ご遺族の同意を得たものについて機関紙及びホームページ上に公開します。

(3) 阿見町予科練平和記念館への協力

阿見町予科練平和記念館運営協議会委員として、適任の理事1名を参加させて運営に対して意見を述べ、同館と雄翔館の同地域における共存共栄の基盤を確立します。

(4) 海上自衛隊への協力

予科練の教育制度を継承する海上自衛隊航空学生が行う、雄翔園・雄翔館における現地教育を支援します。

II 定期刊行物発行事業

本法人の機関誌「予科練」は、会員・遺族及び関係諸団体の皆さんから強い関心と高い評価を得ておりますが、30年度は更に掲載内容の充実を図り本法人の健全なる運営に資するように努力してまいります。

このため、編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等の、従来の内容に加えて、今年度も生存同窓やご遺族の皆様あるいは海原会会員の皆様から投稿していただき、これまで以上にご遺族の皆様・会員の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてまいりたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより、会員以外の購読者の発掘にもチャレンジしたいと考えております。

1 編集委員会

(3・4月号)：2月、(5・6月号)：4月、(7・8月号)：6月、

(9・10月号) : 8月、(11・12月号) : 10月、(1・2月号) : 12月

2 機関誌発行

(3・4月号) : 3月1日、(5・6月号) : 5月1日、(7・8月号) : 7月1日、(9・10月号) : 9月1日、(11・12月号) : 11月1日、(1・2月号) : 1月1日

III 青少年育成支援事業

- 1 30年度も昨年度に引き続き、青少年育成のための助成を実施します。助成対象については、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図った上で決定し予算の範囲内で支援を行うように努めます。
- 2 助成の公平性を確保するために、助成対象基準希望調査をおこないます

VII 庶務事項

1 理事会

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、実施します。

平成30年4月19日 5月17日 6月14日 7月19日 8月23日
9月13日 10月18日 11月15日 12月13日
平成31年1月17日 2月14日 3月14日

2 評議委員会

平成30年度評議委員会を平成30年6月14日(木) 東海大学学友会館において実施します。

- (1) 平成29年度事業報告(29年度収支決算審議を含む。)
- (2) 平成30年度事業計画報告(29年度予算書報告を含む。)
- (3) 平成30年度役員改選
- (4) 海原会定款等改正

3 評議員選定委員会

評議員の任期満了に伴う選任のため評議員選定委員会を開催する。

- (1) 時期 平成30年4月12日(木)
- (2) 場所 海原会事務局 会議室

4 会計監査

平成29年度の収支報告書に基づき、会計監査を行い海原会の経費使用状況の健全性を監査します。

- (1) 時期 平成30年4月19日(木)
- (2) 場所 海原会事務局 会議室
- (3) 参加者

- ア 経理担当副理事長、事務局長、経理担当理事
- イ 監事(2名)
- ウ 事務局員